

大使館からのお知らせ

【注意喚起】落雷及び豪雨による被害の増加について

- 1 コスタリカ国内における5月の落雷は143,000回観測され、例年の約2倍以上となりました。5月25日には、プンタレナス県コトブルス市において、木の下にいた14歳の少年が落雷により死亡しました。アラフエラ県アテナス市、オロティーナ市、グアシマ市、エレディア県サンタ・バルバラ市、太平洋側のニコヤ半島及びオサ半島においては落雷が多く観測されており、特に注意が必要です。
- 2 落雷が多く発生する午後1時から3時頃においては、屋外でのスポーツなどは極力控え、雷鳴が聞こえたら速やかに建物や自動車（オープンカーは不可）などの安全な空間へ避難してください。建物内では全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れば更に安全です。近くに安全な空間が無い場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ（保護範囲）に退避してください。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れ、姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにしてください。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動してください。
- 3 また、豪雨により、浸水被害や道路の封鎖などによる交通事故も増加しています。土砂崩れの危険性もありますので、外出の際には道路状況などの情報収集に努め、被害に巻き込まれないよう十分注意してください。

【参考情報】トゥリアルバ火山の噴火等について

4月30日から継続しているトゥリアルバ火山の噴火活動を含め、コスタリカ国内における火山の噴火や地震の発生に関して、ナショナル大学のコスタリカ地震火山観測所（OVSICORI）が Facebook で逐次情報を提供しています。最新の情報は、同観測所の Facebook (<https://www.facebook.com/OVSICORI>) をご参照ください。なお、同観測所の Facebook で提供される情報は、当館が責任を負うものではありません。

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「36歳と37歳の男性、銃撃されて死亡」

5月3日午後6時30分、サンホセ県モラビア市サン・ブラス地区において、車に乗っていた36歳のコスタリカ人男性と37歳のグアテマラ人男性が、渋滞中に2台のバイクに乗った男から16発銃撃されて死亡した。37歳の男性には、2007年にイタリアで麻薬所持の逮捕歴があった。

「33歳の男性、刃物で刺されて死亡」

5月7日夜、アラフエラ県パルマーレス市にある公園において、33歳の男性が21歳の男性と口論になり、刃物で首を刺されて死亡した。21歳の男性はまもなく逮捕された。

「強盗犯に抵抗した男性、銃撃されて死亡」

5月10日午後2時30分、サンホセ県モラビア市セントロ地区において、4人組の強盗犯のうち2人が携帯電話販売店に、残りの2人がビデオゲーム店に押し入った。ビデオゲーム店の店員が抵抗したところ、銃で7発撃たれて死亡した。強盗犯は売上金等を強奪して逃走した。

「46歳の男性、強盗犯に銃撃されて死亡」

5月13日未明、プンタレナス県プンタレナス市において、46歳の男性の自宅に2人組の強盗犯が押し入った。男性は抵抗し、銃撃されて死亡した。強盗犯は現金約30万コロンを奪って逃走した。

「44歳の男性、刃物で刺されて死亡」

5月12日午後9時、リモン県タラマンカ市において、44歳と42歳の男性が酒に酔って口論となり、44歳の男性が刃物で刺されて死亡した。

「ボランティア活動をしていた男性、銃撃されて死亡」

5月13日午前10時30分、サンホセ県サンホセ市バリオ・クーバにおいて、貧困住民に食料等を配布するボランティア活動をしていた33歳の男性が、活動中に銃撃されて死亡した。死亡した男性には麻薬関係の前科があり、更生のためにボランティア活動を行っていた。

「23歳の女性、銃撃されて死亡」

5月14日午後9時、リモン県ポコシ市において、23歳の女性が自宅前でバイクに乗った2人組の男に銃撃され、銃弾を8発受けて死亡した。女性は以前から殺害の脅迫を受けており、11日には親戚が殺害されたばかりであった。

「39歳の男性、刃物で切られて死亡」

5月15日午前0時30分、アラフエラ県サン・ラモン市にあるダンスホールにおいて、数人が喧嘩となり、39歳の男性が刃物で切られて死亡した。

「22歳の男性、刃物で刺されて死亡」

5月15日午前6時45分、リモン県ポコシ市グアピレスにおいて、22歳の男性が2人の男から刃物で20箇所刺されて死亡した。

「ガソリンスタンドに強盗犯侵入」

5月15日午後8時30分、アラフエラ県アラフエラ市にあるガソリンスタンドに強盗犯が押し入り、現金25万4千コロンを強奪して逃走を図ったが、駆け付けた警察官により逮捕された。犯人は窃盗罪で仮釈放中の25歳の男であった。逮捕の際、警察官に向けて発砲したが、警察官に怪我はなかった。

「46歳の男性、死体で発見」

5月16日午前10時、リモン県グアシモ市にある農場の道端において、シートに包まれた男性の死体が発見された。死体は、グアシモ市出身でサンホセ市在住の46歳の男性とみられ、14日から行方不明となっていた。男性は手足をロープで縛られ、頭部にはビニール袋が被せられていた。17日には、男性所有の車がサンホセ市パバス地区の電車の線路上で発見された。車は燃やされており、男性はサンホセ市内で殺害され、死体発見現場に遺棄されたものとみられている。

「23歳の男性、銃撃されて死亡」

5月16日午後9時55分、サンホセ県ティバス市の中央公園において、23歳の男性が車に乗った数人の男から銃撃され、銃弾を16発受けて死亡した。

「18歳の男性、刃物で刺されて死亡」

5月19日午前2時、サンホセ県エスカス市グアチペリン地区にあるバーにおいて、18歳の男性が友人6人と一緒にいたところ、敵対するグループと喧嘩になり、刃物で刺されて死亡した。まもなく、容疑者として20歳の男が逮捕された。

「強盗被害に遭った沿岸警備隊員の男性、犯人を射殺」

5月21日午前5時、サンホセ県エスカス市ロス・アノノス地区において、非番だった沿岸警備隊員の男性が自宅付近で2人組の強盗に襲撃され、頭部・顔・首・両腕を殴打されて現金を強奪された。男性は自宅から散弾銃を取って現場に戻ると強盗犯に向けて発砲した。強盗犯2人のうち、24歳のニカラグア人男性が胸部と腹部に銃弾を受けて死亡した。

「26歳の男性、銃撃されて死亡」

5月26日午後1時頃、リモン県リモン市において、26歳の男性が自宅を訪ねてきた2人組の男に小銃（AK-47）で数発銃撃されて死亡した。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで